

空き家 見学会&相談会

9/13土
見学 14:00~15:30
相談 15:30~

借りられるかもしれない空き家
まだ貸すか決めていない空き家
を見せてもらいます。まちの歴史
や空き家を活用したお店の紹介も
します。見学会の後、空き家を
活用してやりたいことについて個
別でお話をします。



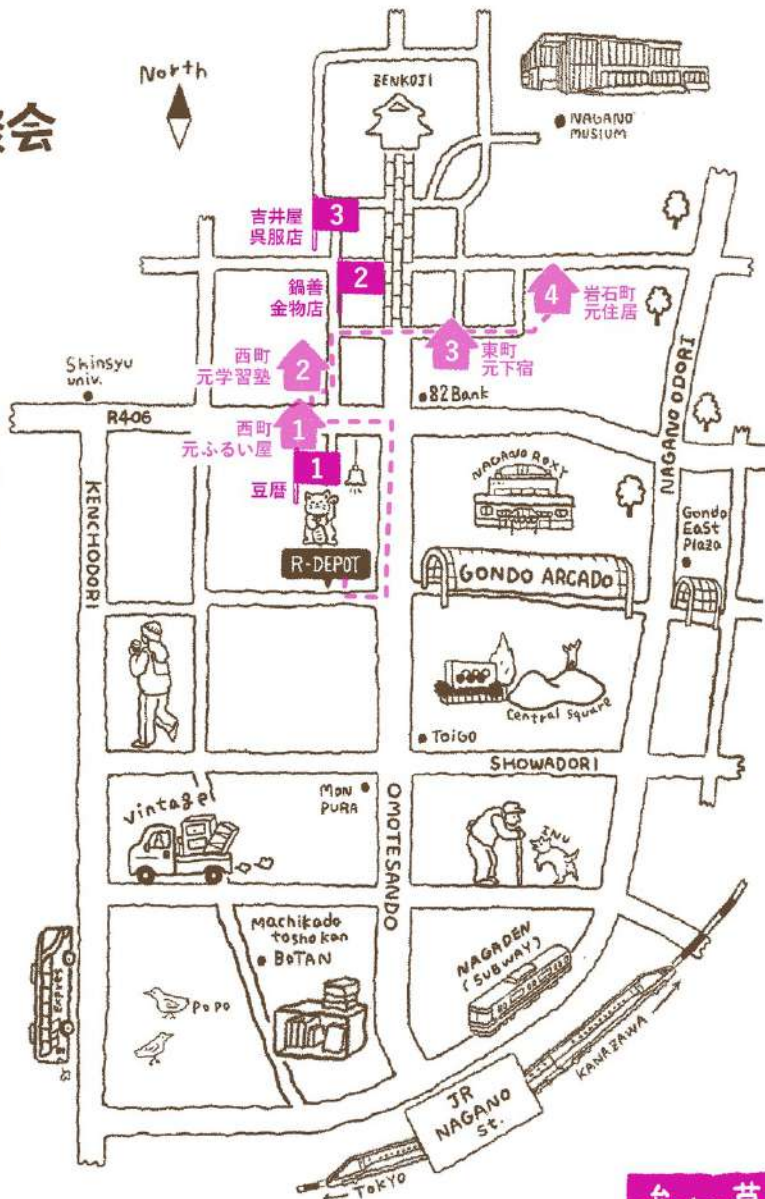
安東 真生 あんどう まさき

R-DEPOT スタッフ

信州大学建築学科卒。R-DEPOT 社員
として、善光寺門前で事業を始めよう
とする人のサポートをしている。建築
が好きで空き家をカッコよく活用した
い。趣味はカメラ。

空き家 こぼれ話

空き家のバックグラウンドを探ると、少し前の生
活スタイルを感じます。例えば、現在は仕事場と
住居は別々の職住分離型のスタイルが多いです
が、商売をしていた空き家はお店部分が手前・
奥に住居という構造が多いです。



ながの門前 まちあるき

9/20土
10:00~12:00

門前で暮らす人、働く人、
楽しんでいる人がまちを
案内します。

vol. 231 まちなか野菜 実験観察会

まちの通りに「食べられる緑=野菜」
を置くエディブルバスウェイ実験で、
置いてくれた老舗のお話を聞き、
街や人の関わりの変遷を観察しま
す。英国の田舎町トッドモーンで
出逢ったIncredible! Edible活動も紹
介します。



坂口 則夫 さかぐち のりお

植物育種家

長野市在住 EGL 非営利活動団体エディ
ブルガーデンラボ代表 Zoony Garden
園主

参加募集

集合：まち暮らしたてもの案内所（R-DEPOT内）

参加費：ながの門前まちあるき 1,000円（U22 無料）

空き家見学会相談会 500円（U22 無料）

定員：各10名 ※要申込

申込み：☎026-219-2280（月曜休）✉info@r-depot.com

窓口開設中！ R-DEPOT



いろんなこども
話しに来てみて

例えば...

- ・長野に住みたい
- ・家財を引き継ぎたい
- ・にぎわいをつくりたい
- ・お店をはじめたい
- ・場所がほしい
- ・アイデアがほしい

場所：長野市西後町 610-12 R-DEPOT

時間：10:00~17:00（月曜休）

問：☎026-219-2280 ✉info@r-depot.com

「まち暮らしたてもの案内所」は
長野市中心市街地遊休不動産活用事業*
の一環で官民連携により実施しています。

*長野市中心市街地遊休不動産活用事業
（2015年～）

【主催】長野市中心市街地活性化協議会
【問合せ】事務局 株式会社まちづくり長野
（電話 026-267-5323）

【プロジェクト】

①西鶴賀町エリアリノベーション（2020年～）

拠点 / 9軒長屋
協働 / 長野県建築士会ながの支部

②石堂町エリアリノベーション（2022年～）

拠点 / まちかど図書館ぼたん
協働 / 長野県立大学 築山ゼミ

③まち暮らしたてもの案内所（2024年～）

拠点 / R-DEPOT
協働 / R-DEPOT

発行：まち暮らしたてもの案内所

まち暮らし たてものの会議

まち・暮らし・たてもの、それぞれの専門家がいたり、いなかったり。空き家・空き地の活用を中心に、まちの催しやこれからできるお店のこと、面白い人のことなどいろいろな話をします。いろんな人に参加してほしいです。



第26回
9/12金
16:00・17:00

①まちのこと、空き家のことに
関わる人を増やすためには

場所：R-DEPOT 1F
参加費：無料

②まち暮らし
たてものの会議の今後

R-DEPOTがあるまち、
西後町周辺を盛り上げる
ためには

第27回
9/26金
16:00・17:00

場所：R-DEPOT 1F
参加費：無料

議題
野菜ポットの広がり

第22回

7/11

参加者：6名

前回に引き続き、食べられるまちを目指している
エディブルガーデンラボの方に参加頂きました。R-DEPOTの店先に野菜ポットを8個設置しました。
順調に育っています。周辺のお店にも広がり、
店先にポットが置かれているそうです。ポットで
育った野菜はご自由に取り食べてOK。
歩いて食べられるまちになればいいー!!

議題
公園と公民館の現場

第23回

7/25

参加者：6名

公園と公民館について研究している方に参加
頂きました。長野市には公園が入れあわせて
600ほどあるそう。そのほとんどは管理が手
いっぱいで活用などの話はあからないようです。
また、公民館も前年度の取り組みの維持の必要
新しい活用など外側からの提案が重要な
ことでした。



まち暮らしたてもの 案内所便り

2025

9月

まちでくらし、
まちを歩いて、
まちのことを話す
わたしたち

